

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	妊産婦・乳幼児等の保健指導事業			事業番号	014-018
担当部署名	子ども青少年	局	子ども青少年育成	部	子ども育成
					課

I. 基本情報

事業の位置付け							
1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れめのない子育て支援の充実
		有	取組の方向性	①妊娠・出産期から乳幼児期までの子どもと家庭への支援			
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.2	
		有	取組	妊娠期からの保健指導と乳幼児健診の実施			
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	堺市子ども・子育て総合プラン					
3	事業開始年度	昭和 15 年度		点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	母子保健法					
事業の概要							
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	各保健センター・子ども育成課					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	妊産婦・乳幼児と保護者等			対象数	単位	
					—	—	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	妊産婦や乳幼児、保護者等が正しい知識を身につけることで、健康を保持・増進し、保護者が安心して子育てをすることで子どもが健やかに成長発達できるよう支援する。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> 支援が必要な対象を早期に把握し、適切な支援につなげる。(妊娠届出時の全件面接や関係機関との連携など) 妊娠期、乳幼児期に保護者や家族を含めた個別の保健指導や育児相談を実施。(保健師の家庭訪問、新生児訪問、助産師による育児ひろば、宿泊型産後ケア事業、妊婦や乳幼児への歯科、栄養相談等) 集団を対象に健康教室や情報提供・啓発等の実施。(パパの育児ひろば、妊婦教室、離乳食講習会、学校や地域と連携した思春期教育、地域での健康教育など) 子育ての孤立予防、仲間づくりの支援。(赤ちゃん広場、育児サークル、同じ悩みをもつ方の集いなどへの支援) 					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	公益財団法人・母子衛生研究会 一般社団法人・大阪府助産師会 産前産後ケアセンター 高石市立母子保健センター あいこ助産院 Pista (ピスタ) 助産院 堺市立総合医療センター 赤井マタニティクリニック 大平産婦人科					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定						
成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	点検年度
11 保健師の妊産婦訪問延人数	人	目標値	2,200	2,000	2,000	2,000
		実績値	1,803	1,809		
		達成率	82%	90%		
		当該指標を選定した理由	妊娠期から出産後に至る切れめのない支援の実施に向け、個々の健康課題に即した保健指導の取り組みとして活動の指標となるもの。			
目標値の設定根拠・算出方法	妊娠届出 (母子健康手帳交付) 時面接や本市に転入された妊産婦面接時のアセスメントにて継続支援が必要と判断した方や、医療機関等から要養育支援ケースとして地域での継続支援が必要と判断された方の数から積算。					
12 活動指標(成果を上げるための手段) 妊娠届出時の妊婦等の面接割合	%	目標値	100	100	100	
		実績値	100	100		
		達成率	100%	100%		
		当該指標を選定した理由	切れめのない子育て支援のスタート地点である妊娠届出 (母子健康手帳交付) 時面接を確実に実施し、支援が必要な対象をれなく把握するため。			
目標値の設定根拠・算出方法	妊娠届出 (母子健康手帳交付) 時面接を対象者全世帯に実施する。					

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	妊産婦・乳幼児等の保健指導事業	事業番号	014-018
-------	-----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	24,547	30,583	35,071	29,485	35,504
13財源内 国支出金	1,644	5,518	6,188	5,334	7,375
府支出金			48		563
市債					0
その他 (広告収入)	475	545	545	448	545
受益者負担金(使用料、手数料等)					0
一般財源	22,428	24,520	28,290	23,703	27,021
14人件費 (b)	9,157	11,359	10,293	10,293	8,981
15年間経費(c)=(a)+(b)	33,704	41,942	45,364	39,778	44,485

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち 一般財源	項目	年度	事業費	うち 一般財源	
								R3 決算
16事業費内訳	報償費	R3 決算	9,232	9,232	役務費	R3 決算	83	81
		R4 予算	10,976	10,898		R4 予算	131	117
	需用費	R3 決算	7,017	6,522	使用料及び賃貸料	R3 決算	71	71
		R4 予算	6,687	4,960		R4 予算	144	144
	委託料	R3 決算	12,402	7,117	備品購入費	R3 決算	334	334
		R4 予算	16,414	9,810		R4 予算	325	325
報酬費	R3 決算	336	336	負担金、補助及び交付金	R3 決算	0	0	
	R4 予算	420	420		R4 予算	107	107	
旅費	R3 決算	10	10		R3 決算			
	R4 予算	300	240		R4 予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
① 保健師の妊産婦訪問延人数	人	1,803	1,809
② 上記①にかかる年間経費	千円	41,942	39,778
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	23,262	21,989
備考 (算出についての説明等)	8箇所の保健センター保健師等が対象を個別に訪問した実績値から積算。		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>新型コロナウイルス感染症の予防対策として、他者との接触を避けるため等の理由から訪問希望者数は令和2年度に減少しそのまま停滞を続けており、単位当たり経費も概ね横ばいとなっている。コロナ禍においても子どもが健やかに成長発達できるよう、家庭訪問以外に電話連絡等に情報提供や相談支援を実施し、効率的に事業実施できている。</p>
----	---

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>妊娠期から乳幼児を育む親子が安心・安全に育児を行い健康に過ごすためには、個々の課題に予防的にかかわり、誰もが抱えやすい心配や負担感に寄り添いながら、必要とする時に身近な場で相談支援が受けられることが必須であり、当事業を実施する意義は大きい。特に、社会全体がコロナ禍の中で健康を脅かされる大きな不安がある中、個別支援対応で様々なアプローチ方法から正しい知識の提供や相談支援を行う当事業が果たす役割は重要である。</p>
----	---